



令和 6年 3月 29日

京都大学記者クラブ加盟各社 御中
在阪民放四社京都支局協議会加盟各社 御中

「市民公開講座」特別企画「川柳」の入賞句の決定について

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 (iACT) は、市民公開講座「未来の医療のために—iPS細胞から生まれた新たな治療法」(令和6年2月18日開催済)[注1]の特別企画として「薬に関する川柳」を募集中でしたが、この度、一次選考(選考委員:患者さん、研究者、川柳専門家、治験・臨床研究支援機関スタッフ)、二次選考(iACTのホームページ上でのWeb投票、京大病院外来における患者さん投票、京大病院内の複数名のスタッフによる審査)の結果を踏まえて入賞句を決定しました。川柳募集結果等概要とあわせて、下記のとおりお知らせします。

記

◆市民公開講座「未来の医療のために—iPS細胞から生まれた新たな治療法」
特別企画「薬に関するエピソードや日頃の思いを川柳にのせて」

【入賞句】

京大病院川柳賞

母の手に 乗せる薬に 願い込め [ペンネーム (以下同様): たーこいず]

京大病院 iACT 川柳賞

手のひらに 軽くて重い 薬たち [健康コツ]

京大病院患者川柳賞

老人会 薬の多さで 上座決め [茶唄鼓/ちゃかどん]

京大病院 Web 投票川柳賞

待合室 推しの薬で 盛り上がり [つきの]

京都新聞賞

期限切れ 元気の証 常備薬 [みらいむ]

KBS 京都賞

良く効いた 薬の陰に 治験あり [大倉]

佳作

新薬を 命つないで 待つ患者 [ナンサン]

佳作

新薬が 明るく照らす 今・未来 [恵子]

佳作

新薬が 増やす希望と 減らす不安 [ミファ]

佳作

新薬の 開発者にも 思い馳せ [水仙]

【特別企画「薬に関するエピソードや日頃の思いを川柳にのせて」 概要】

1. 企画意図

臨床研究や治験などを通して新しい薬などが生まれ、未来の医療に繋がっていくことについて理解を深めていただくことを目的としたものです。市民の皆さんが川柳を作りながら、薬に思いを馳せ、薬の存在意義と研究開発について改めて考える機会になることを期待しました。

2. お題「薬」

3. 募集期間：2024年1月10日から2024年2月25日

4. 募集方法：iACTのHP、FAX

5. 結果：全国の10～80代の市民の皆様より1386句の応募を頂きました。

6. 審査：以下の2段階で、厳正かつ公平な過程を経て各賞を決定しました。

〈一次選考〉選考委員（患者さん、研究者、川柳専門家、治験・臨床研究支援機関スタッフ）による審査

〈二次選考〉iACTのホームページ上でのWeb投票、京大病院外来における患者さん投票、および、京大病院内の複数名のスタッフによる審査

入賞句詳細：iACT ホームページ <https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/news/6432>

*なお、本市民公開講座および特別企画は京大病院基金 [注2] の支援を受けて開催されました。

[注1]

【市民公開講座概要】

患者さんや市民の方に臨床研究や治験について理解を深めていただくことを目的として開催するもので、iACTとしては昨年につき2回目の開催を終えました。今回は臨床研究・治験に関する役立つ情報の探し方や向き合い方の他、「iPS細胞」に関する新たな治療法の開発について紹介しました。当日の録画をオンデマンドで配信中で、どなたでも閲覧可能です。

<https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/news/6323>

[注2]

【京大病院基金】

2015（平成27）年、広く積極的に社会から寄付を受け入れるために京大病院で設置した基金。多様な財源の確保・充実を図りつつ財政基盤を強化し、診療、研究、教育を通してさらなる社会貢献に資することを目指しています。

<https://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/hospital/>

以上

◆本企画内容に関する連絡先：

京都大学医学部附属病院

先端医療研究開発機構（iACT、アイアクト）

戦略・広報室

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

Tel：075-751-4724（平日 9:00-17:00）

E-mail：spr_crt@kuhp.kyoto-u.ac.jp